

事務事業名「つくしちゃん」積極活用事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1724

施 策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020101-39-018
基本事業：	02	市の魅力の情報発信	担当部	企画政策部
基本事業の 成果指標	市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数 SNSフォロワー数		担当課	秘書広報課
	市の魅力をPRするために作成・発信したコンテンツ数（計画期間内累計） この1年間で友人・知人に筑紫野市の良さを伝えたことがある市民の割合		担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度		新規・継続		継続	会計区分			実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市内外住民			・ イベント等でのつくしちゃんの着ぐるみの積極的な活用。 ・ 刊行物等へのつくしちゃんのイラストの積極的な活用。 ・ ラインスタンプ、グッズ（ピンバッジ、CD等）の販売・配布							
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市のイメージアップと知名度向上の一助となることを目的に、「つくしちゃん」の露出回数を増加させることで愛着や印象を持ってもらい、「つくしちゃん」の認知度を向上させる。										
4．成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標	
着ぐるみの貸し出し回数		回	26	33	50	50				
「つくしちゃん」の認知度（市民アンケート）		%	89.9	89.7	90	90				
5．コスト										
事業費		計	千円	31	31	3,679	7,420			
		国	千円	0		0	0			
		県	千円	0		0	0			
		地方債	千円	0		0	0			
		その他	千円	0		0	0			
		一般	千円	31	31	3,679	7,420			
正職員人工数		人工	0.3	0.3	1.5					
正職員人件費		千円	2,318	2,345	12,035					
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	2,349	2,376	15,714	7,420				
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）		新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントがなくなり貸出件数が激減していたが、感染症の流行が落ち着き、イベントの開催が増えてきたことから、着ぐるみ貸し出し回数も回復している。 「つくしちゃん」の認知度について、まちづくりアンケートで平成30年度から質問項目を設けており、令和5年度は「イラストも愛称も知っている」55.5%、「イラストだけ知っている」28.5%、「愛称だけ知っている」5.7%となっている。								
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	【状況】着ぐるみ貸し出しについて、例年同一イベントでの貸し出しが多い。コロナ禍で貸出件数が減少していたが、イベントの実施増加に伴い、増加している。 【課題】イベント等の実施がさらに増加することが予想されるので、貸し出し制度の周知を積極的に行う。 イラストや着ぐるみ等について、積極的な活用を促していく。						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり							
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり							
成果向上余地	大きい									
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		○維持 ●見直し ○廃止 ○事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
今年度につくしちゃんのリニューアルを行い、それに伴う周知、活用ツールの拡大により、認知度向上を図る。 また、つくしちゃんを活用したシティプロモーションを行うことで、市民の郷土愛を深め、筑紫野市の認知度を高める。										
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄						
近年、自治体のマスコットキャラクターは「ゆるキャラ」としてイベントのPRや自治体の顔として重要な役割を担うようになってきている。										